



5000曲に及ぶ楽曲、数多の著作を遺した

昭和歌謡界の星、阿久悠。

その詞と言葉は時代を超え、今なお愛され続けている。

校友・阿久悠の生涯、そして、その足跡に触れられる

明治大学の施設「阿久悠記念館」など、

明治大学から見た阿久悠を紹介する。

阿久悠 (1937～2007) 作詞家・作家

兵庫県淡路島生まれ。明治大学文学部卒業。広告代理店勤務を経て、放送作家・作詞家として活動を本格化させ、「また逢う日まで」「勝手にしやがれ」「UFO」など数々のヒット曲を発表する。手掛けた5000曲以上にも及ぶその歌の世界は、アイドルから演歌、POPS、アニメ主題歌と多岐に渡り、世代を超えて日本人の心を捉え続け、「日本レコード大賞」「日本歌謡大賞」「古賀政男記念音楽大賞」などの賞を多数受賞。企画、審査員として携わったテレビ番組「スター誕生!」では、森昌子、桜田淳子、山口百恵、小泉今日子など、多数のトップスターを輩出した。また、小説家としても活躍し、『瀬戸内少年野球団』は直木賞候補となり、映画化もされた。1997年、第45回菊池寛賞受賞。1999年、紫綬褒章受章。

CONTENTS

P10-13 阿久悠の詞と人生 — 奇跡の力 —

P14-15 阿久悠 略年譜

P16-19 対談『父としての阿久悠、職業人としての阿久悠』

P20-21 阿久悠作詞賞の歴史

P22-25 阿久悠記念館の魅力大解剖!

昭和歌謡界の星 阿久悠

写真提供: (株) オフィス・トゥー・ワン